

Fresh Concert ~CMDJ 2018~ ~より豊かな音楽の未来をめざして~



すみだトリフォニーホール 小ホール

2018年4月11日(水)

主催：日本音楽舞踊会議／後援：季刊『音楽の世界』

《 プ ロ グ ラ ム 》

牧羽 裕子 (ソプラノ)

ヴェルディ
G. Verdi

ピアノ：工藤 真緒子

歌劇『イル・トロヴァトーレ』より "静かな夜"
Opera [Il Trovatore]~ "Tacea la notte placida"

田中 詩織 (ピアノ)

シューマン
R. Schumann

交響的練習曲 作品 13
[Symphonische Etüden] Op. 13

吉田 静香 (ソプラノ)

チマーラ

P. Cimara

カタラーニ

A. Catalani

ピアノ：浅井 桜子

“愛の神よ、ようこそ”

“Ben venga amore”

歌劇「ワリー」より “さようなら、故郷の家よ”

Opera [La Wally] ~ “Ebben, ne andrò lontana”

松井 菜緒 (フルート)

クーラウ

F. Kuhlau

ピアノ：杉森 繪里

「序奏とロンド」 作品 98

Introduction and Rondo for Flute and Piano Op.98

吉田 裕佳子 (ピアノ)

ドビュッシー

C. Debussy

[12 の練習曲]より、1.五本の指のために(チェルニー氏による)

5.オクターヴのために、11.組み合わされたアルペジオのために

[12 Études]~ 1.pour les cinq doigts d'après Monsieur Czerny

5.Pour les octaves 11.Pour les arpèges composés

----- 休憩 -----

宮本 剛 (Ten. tb.) / 安達文香 (Ten. tb.) / 千葉 美紗希 (Ten. tb.) / 白井 美恭 (Bas. tb.)

ヒダシ

F. Hidas

「フォーインハンド」 〈トロンボーン四重奏〉

[Four in Hand]

< Trombone quartet >

新福 美咲 (ソプラノ)

ベイツ

L. Beyds

プーランク

F. Poulenc

ピアノ：森田 真帆

「鳥たちのための歌」より 1.短刀で刺された鳩、4.籠のカナリア

[Chansons pour les oiseaux]~ 1.La colombe poignardée 4.Le petit serin en cage

“愛の小径”

“Les chemins de l'amour”

立本 沙也華 (ピアノ)

ショパン

F. Chopin

[バラード] 第4番 作品 52

[Ballade] No.4 Op.52

落合 真悟 (チェロ)

ラロ

É. Lalo

ピアノ：志村 直樹

チェロ協奏曲 ニ短調 第1楽章

Cello Concerto in D-minor 1st movement

野村 優子 (ソプラノ)

ドニゼッティ

G. Donizetti

ピアノ：藤川 志保

歌劇 [ランメルモールのルチア] より

“あたりは沈黙に閉ざされ ~ この上ない情熱に心奪われた時”

[Lucia di Lammermoor]~ “Regnava nel silenzio~ Quando rapito in estasi”

司会：佐藤 光政

《ごあいさつ》

Fresh Concert は 2003 年に第 1 回を開催し、本年で第 16 回目を迎えます。過去 15 年間には、2011 年の東日本大震災、福島原発事故という未曾有の大災害、大事故に見舞われ、コンサート開催が危ぶまれたこともありましたが、そういう難局を関係者の熱意と努力で乗り越え、とうとう 16 回積み重ねることが出来ました。

一見豊かそうに見える我が国ですが、現在の我が国の社会、文化環境は、音楽をめざす多くの若者にとって、決して恵まれているとは申せません。そういう環境の中で、若い才能を発掘し、育成につとめることも、創立以来 50 年を越える歴史を重ねて来た当音楽文化団体として果たすべき社会的、文化的使命の一つと考え、2003 年以来、毎年 3 月下旬～4 月上旬に『Fresh concert』を企画し、開催してまいりました。

16 回目を迎える今回も、10 組、13 人、伴奏者を含めると 19 名に及ぶ優秀な若い音楽家たちがステージに立ちます。今回は、声楽、ピアノ、弦楽器、木管、金管楽器と主要な音楽部門のすべてから参加があり、多彩なコンサートとなりました。

どうか、若い音楽家たちが、若々しい情熱を注ぐ演奏に耳を傾け、暖かく励ましてあげてください。聴衆の皆様と共に音楽の喜びを分かち合うことができれば、出演者およびスタッフ一同にとって、この上ない幸せであります。

日本音楽舞踊会議	代表理事	深沢亮子
	理事長	北川暁子
	公演局長	北條直彦
コンサート実行委員長 中島洋一		



《演奏者プロフィール》

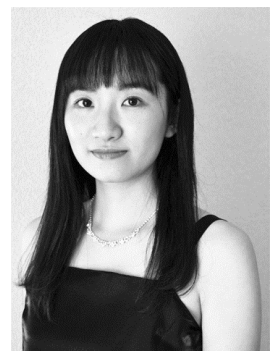
牧羽 裕子 (まきば・ゆうこ : ソプラノ)



長野県出身。演奏・創作学科声楽専修卒業、オペラ・ソリストコース修了。2013 年オーストラリア・ブリスベンで開催された、第 8 回国際声楽指導者連盟講習会に出席。在学中公開レッスンや、第 99 回ソロ室内楽定期演奏会等に出演。第 71 回全日本学生音楽コンクールの東京大会大学の部 入選。これまでに声楽を山田実・佐竹由美の両氏に師事。

工藤 真緒子 (くどう・まおこ : 伴奏ピアノ)

青森県出身。演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業、ピアノコース修了。これまでにピアノを田中みゆき、久元祐子の各氏に師事。





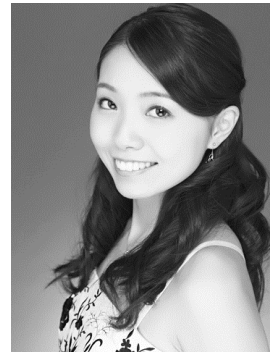
田中 詩織(たなか・しおり：ピアノ)

島根県出身。国立音楽大学ピアノ科を卒業。第20回PIARAピアノコンクール全国大会入選。第27回日本クラシック音楽コンクール全国大会に出場。2016年、プリマヴィスタオーケストラとショパンピアノ協奏曲第1番を共演。2014年ドイツのユーロ・ミュージックフェスティバル、また2015年・2016年ハイリゲンベルク国際音楽講習会に参加しベルント・ゲツケ氏とミヒャエル・ハウバー氏のマスタークラスを修了。2017年ヤマハ銀座店主催ニュージェネレーション・ピアノサロンコンサートに出演。これまでに、吉田延子、吉田功、新納洋介、北川暁子の各氏に師事。



吉田 静香 (よしだ・しずか：ソプラノ)

国立音楽大学附属高等学校卒業。国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修卒業。高校在学時、卒業演奏会に出演。大学在籍時、第122回Vocal concert、第100回ソロ・室内楽定期演奏会に出演。第2回シド・オーディション奨励賞受賞。声楽を羽根田宏子、岩森美里の各氏に師事。



浅井 桜子 (あさい・さくらこ：伴奏ピアノ)

国立音楽大学附属高等学校卒業。国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修卒業。アンサンブル・ピアノコース修了。現在、同大学院修士課程器楽専攻伴奏コース1年在籍中。高校在学中、新入生歓迎演奏会、卒業演奏会に出演。ピアノを澤本陽子、五十嵐稔、梅本実の各氏に、伴奏法を河原忠之氏に師事。現在三木香代氏に師事。



松井 菜緒 (まつい・なお：フルート)

埼玉県川越市出身。国立音楽大学卒業。及び弦管打楽器ソリストコース修了。フルートを佐久間由美子、齋藤真由美、室内楽を小林裕の各氏に師事。ジュリアン・ボディモン氏、ミヒャエル・ハーゼル氏のマスタークラスを受講。2013年JBA埼玉県部会主催ソロコンテスト本選 金賞受賞。第32回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第5位。学内オーディション合格者による国立音楽大学第100回ソロ室内楽定期演奏会に出演。7月に行われる日本フルート協会主催第45回フルートデビューリサイタルに出演予定。現在、国立音楽大学大学院修士課程に在学中。

杉森 繪里 (すぎもり・えり：伴奏ピアノ)

国立音楽大学附属中学校・高等学校を経て、国立音楽大学演奏学科ピアノ専攻卒業、アンサンブル・コースを修了、同大学院器楽専攻伴奏コース修了。第20回日本クラシック音楽コンクール好演賞、第25回日本クラシック音楽コンクール第5位、第11回ブルクハルト国際音楽コンクール室内楽部門にて14位無しの第5位。第11回宮崎県川南町モーツァルト音楽祭に室内楽で参加、植田克己氏のマスタークラスを受講。また、大学においてアレッシオ・バックス氏の公開レッスンを受講。学内選抜演奏会、東京同調会新人演奏会出演。これまでにピアノを、金山典子、内川裕子、加藤一郎に、伴奏法を三木香代の各氏に師事。





吉田 裕佳子 (よしだ・ゆかこ:ピアノ)

埼玉県立芸術総合高等学校音楽科卒業。
現在、桐朋学園大学音楽学部4年在学。
これまでに柳沢慶子、田島葉子、北川暁子、有森直樹の各氏に師事。
第17回PIARAピアノコンクール 全国大会入選。
第20回宮日音楽コンクール 優良賞。



左から宮本 剛、安達 文香、千葉 美紗希、白井 美恭

〈トロンボーン 四重奏〉

【団体名】MAST Quartet

2016年 4月 MAST Quartet結成
2017年 6月 ソロ・室内楽の演奏会
にオーディションを経て出演。
12月 ロベルト・カイク氏の
マスタークラスを受講。

宮本剛(みやもと・つよし:Tenor bass-Tb.)

広島県出身、トロンボーンを若狭
和良、黒金寛行の各氏に師事。

2017年 ファブリス・ミリシェー氏

のマスタークラスをソロで受講。ソロのほか、自身が所属するアンサンブル団体に様々な演奏活動を積極的に行っている。

安達文香 (あだち・あやか: Tenor bass-Tb.)

東京都出身、トロンボーンを青木昂氏、古賀光氏に師事する。現在、くにたちWINDSに所属。同アンサンブルでは学内外で活動している。

千葉美紗希 (ちば・みさき: Tenor bass-Tb.)

トロンボーンを古賀光氏に師事。自身が所属するアンサンブル団体にボランティア活動を実施。様々な編成で学内外問わず積極的に活動している。

白井 美恭 (しらい・みゆき:Bass-Tb.)

宮城県出身。バストロンボーンを山田守氏、黒金寛行氏に師事。現在NewTide Jazz Orchestra、濃い味バンドに所属。様々なジャンルや編成で、学内外問わず精力的に活動している。



新福 美咲(しんぷく・みさき:ソプラノ)

鹿児島県出身。鹿児島県立松陽高等学校音楽科卒業。国立音楽大学 演奏学科声楽専修 卒業。同大学院 音楽研究科声楽専攻(フランス歌曲)修了。第30・31・32回鹿児島県高等学校音楽コンクール 金賞。第54回・56回南日本音楽コンクール 入選、57回 優秀賞。第30回鹿児島新人演奏会出演。第19回日仏声楽コンクール 入選。これまでに、品田昭子、故平野忠彦、秋山理恵各氏に師事。二期会準会員

森田 真帆(もりた・まほ：伴奏ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。国立音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻伴奏コース修了。第14回アジアクラシックコンクール優秀賞、第2回ディヒラー・サトウ記念コンクール第2位、第24回飯塚新人音楽コンクール第3位入賞。これまでに玉置善己、近藤伸子、井上二葉の各氏に師事。日本フォーレ協会会員。日本音楽療法学会正会員。



立本 沙也華(たてもと・さやか：ピアノ)

大分県立中津北高等学校卒業。第13回ショパン国際音楽コンクール in ASIA 北九州地区大会高校生部門銀賞受賞。2012年、シレジア・フィルハーモニー管弦楽団と共演。平成26年度福井直秋記念奨学金奨学生。現在、武蔵野音楽大学大学院修士課程ヴィルトゥオーゾコース1年に在学。

平岩 祥子、北川 暁子、今泉 統子に師事。



落合 真悟(おちあい・しんご：チェロ)

5歳よりチェロをはじめ。チェロを植草ひろみ、安田謙一郎、北本秀樹の各氏に師事。Fresh Concert CMDJ 2014~2017、堀米ゆず子アカデミー2016などに出演、参加している。現在早稲田大学文学部3年および桐朋学園大学カレッジディプロマコース2年在学中。

志村 直樹(しむら・なおき：伴奏ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。これまでにピアノを飯塚まりえ、野口裕紀、瀬川由馬、木村徹の各氏に、室内楽を音川健二、鷹羽弘晃各氏に師事。

KOBE 国際学生音楽コンクールピアノ A 部門優秀賞。ロゼピアノコンクール第1位(富士新聞社賞)。ハマの JACK コンチェルトソリストオーディション合格、ハマの JACK オーケストラとベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を共演している。



野村 優子(のむら・ゆうこ：ソプラノ)

国立音楽大学附属高等学校を経て国立音楽大学演奏学科声楽専攻を卒業。卒業時に卒業演奏会、東京同調会新人演奏会に出演。同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻(オペラ・コース)を修了。これまでに声楽を羽根田宏子、岩森美里の各氏に師事。国立音楽大学大学院オペラ公演『フィガロの結婚』伯爵夫人役でオペラデビューを果たす。その他、オペラ『魔笛』パミーナ役(第2幕)で出演。

藤川志保(ふじかわ・しほ：伴奏ピアノ)

国立音楽大学付属高校を経て同大学音楽学部ピアノ科卒業。1996年よりモスクワ音楽院にてR. ロッシーナ氏に師事。帰国後、武蔵野音楽大学特修科にてE. アシュケナーズ氏に師事。第6回かながわ音楽コンクール第二位。神奈川県フィルと共演。第14回飯塚新人音楽コンクール第二位。イタリアマルサラ市国際コンクールファイナリストデュプロマ賞受賞。二期会オペラ研修所、国立音楽大学及び同大学院オペラ科ピアニスト。



《曲目解説 中島 洋一》

① ヴェルディ 歌劇『イル・トロヴァトーレ』より“静かな夜”

19世紀のイタリアオペラの巨匠、ジュゼッペ・ヴェルディ(1813-2001)は、数多くのオペラの傑作を残しているが、1952年12月に作曲され、翌年3月初演された『イル・トロヴァトーレ』は、『リゴレット』、『椿姫』と並ぶ、中期の傑作の一つと云えよう。

舞台は15世紀のスペイン。ルーナ伯爵の弟は、赤ん坊の頃病弱だったが、彼の父は我が子の病弱の原因がシプジーの老婆の呪いのためと思い込み、老婆を火あぶりの刑にかけ殺してしまう。しかし、その時、赤子だった弟も姿を消す。父は息子の生存を信じながら世を去る。ルーナ伯爵は父の意志を継ぎ、弟を探し続けるが、女官レオノーラに恋をし、恋敵のトロヴァローレ(吟遊詩人)マンリーコと争う。伯爵はマンリーコを捕らえ処刑するが、マンリーコこそ彼が探していた弟だと聞かされ、慄然とする。呪いと愛をテーマとした悲劇である。

“静かな夜”は、レオノーラが侍女イネスにトロヴァトーレを愛するようになった経緯を歌うアリア。アンダンティーノ、変イ長調6/8で静かに歌いはじめるが、彼に対する想いがつり、感情が昂って行く。イネスに「その恋には不吉な影がある」とたしなめられるが、この恋は言葉で言い表せないと熱く歌いつづける。アレグロ ギュスト 4/4。静かな想いを込めて歌う第1部と、対象的に熱く激しく歌う第2部からなる、ソプラノ歌手の声の技量と表現力を要求する美しいアリアである。

② シューマン 交響的練習曲 作品13

ロベルト・シューマン(1810-1856)は裕福な家庭に生まれ、少年期から音楽、文学をこよなく愛し才能を示すが、母の強い希望でライプツィヒ大学の法科に進学する。しかし、芸術の道への思いを絶ち切れず、まずは一流のピアニストを目ざして猛練習に励むが、無理な練習法を試みたのが祟り、32年6月に指の麻痺に襲われ、苦悶のすえピアニストを目指すのを諦め、創作活動に専念する道を選ぶ。「交響的練習曲」は1834-35年に作曲され、「謝肉祭」とともに、その時期に書かれた初期の傑作である。

この作品は1835年版では、テーマと12曲のヴァリエーションからなり、C#-G#-E-C#のモチーフを持つテーマは当時彼が交際していた女性の父が書いた作品の旋律から引用している。そして、ほぼ全曲において、そのモチーフが様々な形をともなって現れる。1852年版では、そのモチーフと関連性のない、No.3、No.9が省かれている。

「交響的練習曲」はその名が示す通り、多くの指を駆使し、あたかもピアノで奏でる交響楽のように、厚く豊かに響くように書かれており、そこにピアニストの道を断念した作者の想いが込められているような気がする。作品からは豊かな才能と様々な工夫がうかがえ、同年生まれのショパンの作品に匹敵するピアノ曲の名品といえよう。

なお、今回は、1952年版を演奏する。

③-1 チマーラ “愛の神よ、ようこそ”

ピエトロ・チマーラ(1888-1967)は、レスピーキに学んでいるが、生前は主に各地の劇場で指揮者として活動していた。作品としては、二曲の弦楽四重奏曲と、伝統的な手法で書かれた20数曲の美しい歌曲作品が残されている。

“愛の神よ、ようこそ”は、ゴットフレード・ペーシの詩で書かれた「カレンディマッジョ3つのパラータ」の2曲目にあたる。

アンダンテ・ノントロポ 変イ長調2/2。“愛の神よ、花咲く庭にようこそおいでください”と歌いはじめ、途中で変ホ長調(属調)に転調し、感情がたかまり、最初の歌詞が現れた箇所まで最高

潮に達する。そして、愛の夢に浸りながら、まどろむように曲を閉じる。

③-2 カタラーニ 歌劇「ワリー」より “さようなら、故郷の家よ”

アルフレード・カタラーニ(1854-1893)は、プッチーニより4歳年上のイタリアの作曲家でドイツ・ロマン派の影響もみられる。38歳の若さで没したため、残された作品は多くはないが、『ワリー』は『ローレライ』とともに、彼が作曲したオペラの代表作である。

“さようなら、ふるさとの家よ”は、このオペラの第一幕で、父に恋人との愛を拒絶され、意に沿わない結婚を強要されたワリーが「それなら私は遠いところへ行くわ」と悲しみを込めて歌う情感に満ちたアリアである。ホ長調 3/4 (アンダンテ・ソステヌート・モルト) アリアの最後の部分では彼女の悲しみ情は高まりホ短調となり終わる。このアリアはこのオペラ中で最も有名なもので、コンサートで単独で歌われる機会も多い。

④ クーラウ 「序奏とロンド」作品 98

フリードリヒ・クーラウ (1786-1832)はドイツの作曲家、後にデンマークのコペンハーゲンに移住している。我が国で出版されている「ソナチネ・アルバム」の中に、彼の曲が掲載されていることで名前がよく知られているが、彼は多くのフルート作品を残し、フルートのベートーヴェンなどとも呼ばれ、現在でも多くのフルーティストたちが、演奏会で彼の作品をとりあげている。

「序奏とロンド」作品 98 は、1828年頃の作と思われるが、この作品のロンドのテーマとして、オンスローのオペラ『行商人』No. 8のコーラスの旋律を転用している。

序奏はマエストロソ：ホ長調+4/4 ピアノの和音節奏とフルートの下降音階で堂々とはじまる。序奏が終わると、アレグロ・ヴィバーチェ：ホ短調 6/8 でロンドに入り、前述のテーマが何度も繰り返し演奏される。いったんト長調に入るが、再びホ短調に戻り、最後は同主調のホ長調となり、明るく華やかに曲を閉じる。近代の作曲家で例えばドビュッシーなどは、どちらかというフルートの低音域の響きを好む傾向があるが、クーラウは音が良く通り明るく華やかな高音域を好んで使っているようだ。

⑤ ドビュッシー [12の練習曲]より、1. 五本の指のために(チェルニー氏による)

5. オクターヴのために、11. 組み合わせられたアルペジオのために

クロード・ドビュッシー(1862-1918)は、オペラ『ペレアスとメリザンド』、そして多くの管弦楽曲、歌曲を残しているが、ピアノ曲も彼にとって重要なジャンルで、多くの名作を残している。

[12の練習曲]は、晩年の1915年に書かれ、その彼頃彼は出版社からショパンの作品の選定の依頼を受けており、作品には「フレデリック・ショパンの追憶」という献辞が添えられている。この作品においては中期の模糊とした世界を脱し、厳しく錬磨された音の響きが追求されている。

1. 五本の指のためには、チェルニーの初級の練習曲を思わせるような音階の定型で始まるが、鋭い響きが加わり、最初の素材が変形されて新しいものを生み出すかのように展開されて行く。

5. オクターヴのためには5音音階和音を軸に、速いオクターヴ音型が奏でられ、やがて和音的背景は変化して行くが、オクターヴの音型が様々な形態で奏されて行く。高度な指の技法を踏まえながら、響きの濃淡を表現することが要求される難曲である。

11. 組み合わせられたアルペジオのために

始めは単純な5音音階のアルペジオから始まるが、次第に他の音加わり、美しく繊細に展開されて行く。中間部ではジョコーソ(おどけて)という発想記号が入り、ちょっと気取っておどけた感じの楽しい楽想が入る。再び最初のアルペジオの音型に戻り、音域幅の広いアルペジオを奏して、静かに曲を終える

⑥ ヒダシュ 「フォーインハンド」 〈トロンボーン四重奏〉

ヒダシュ・フリジェシュ (11928-2007) はハンガリーの作曲家。リスト音楽院で学んだ後、1951年から1966年までハンガリー国立劇場の音楽監督を務め、また市立オペレッタ劇場でも同役職を1974年から1979年まで務めた。その後フリーの作曲家となり、オペラ、協奏曲、それ以外の管弦楽曲、室内楽、吹奏楽など、多くのジャンルに向けて作品を書いている。

「フォーインハンド」は、トロンボーン・四重奏のための作品で、短い5つの楽章から構成されている。

1. アレグロ モデラート 4/4

付点のリズムを特徴とする明るく軽快な楽章である。全奏者が上行音階を奏してこの楽章を締めくくる。ハ長調の調性が明確に感じられる楽章である。

2. スケルツォ 2/4

16分音符による上行音階と、下行音階が交互に現れる速度感のある楽章。途中でリズムが変わり、テンポが遅くなるが、速いテンポに戻り楽章を閉じる。

3. アンダンテ レッジエロ 8/8

3番奏者の旋律と1, 2番奏者のシンコペーションで奏される和音の組み合わせで始まるが、やがて4番奏者が主旋律を担当するようになる。変拍(拍子が変わること)が多いが、歌を主体とした楽章となっている。

4. アレグレット センプリッチェ 4/4

1番奏者が発音する長い音に対し、他の奏者がそれぞれ1拍遅れで吹くように応答して行く。もったりした憂鬱感の漂う楽章である。

5. ヴィヴァーチェ 7/8

1小節毎に拍子が変わるリズムを特徴とした急速な楽章。全曲を締めくくるに相応しい明るく変化に富んだ楽章となっている。終わりの方でテンポを落としコラールが現れるが、最後は楽章のはじめのテーマに戻り、華やかに曲を閉じる。

20世紀後半に作曲された現代音楽には無調的傾向の作品が多いが、この作品は概ね明確な調性を有し、一般の聴衆にとっても親しみやすい作品となっている。

⑦-1 ベイツ 「鳥たちのための歌」より 1. 短刀で刺された鳩、4. 籠のカナリア

ルイ・ベイツ (11895-1953) は、ワインの一大産地ボルドーで生まれたフランスの作曲家。オペレッタや映画音楽などを作曲し、歌曲作品も残している。

「鳥たちのための歌」は、ポール・フォールの詩による歌曲集。

1. 短刀で刺された鳩 は、ピアノの分散和音に誘われて、変口短調で悲しく歌い始める、転調し屈折した感情が表現されて行く。そして再び最初の楽想に戻り、最後は自らを慰めるように、同主調(変口長調)で曲を閉じる。

4. 籠のカナリア ヘ長調 2/4 8分音符のリズムを刻むピアノ伴奏にのって、歌は滑稽な調子でリズムに歌い出す。籠に閉じ込められたカナリアが自由に動けず困っているかのようだ。歌は囀るように高い音域に達する。コロラトゥーラソプラノの声の魅力を引き出す歌となっている。

⑦-2 プーランク “愛の小径”

フランシス・プーランク (1899-1963) は、フランス6人組の一人で、ドビュッシー、ラヴェルの後の世代の作曲家である。声楽曲、室内楽、宗教曲、オペラ、バレエの音楽など、多くの分野で作品を残している。なお、生前の彼と会ったピアニストの田中喜代子さんは、とてもピアノが達人だが、期待したほどダンディーではなかったと語っていた。

“愛の小径”はジャン・アヌイ作の『レオカディア』の劇中歌として作曲されたシャンソン。曲は2番まである有節歌曲形式となっているが、後半は同じ歌詞が繰り返される。ピアノの前奏に

続き、失ったものを嘆くように、嬰ハ短調で歌い始めるが、後半の“私の愛の小径にあなたを探し続ける”の歌詞以降は、同主長調で歌われる。メロディーが美しく親しみやすい作品となっている。

⑧ ショパン 【バラード】 第4番 作品52

フレデリック・ショパン（1810-1849）は4曲のバラードを作曲しているが、いずれもショパンの音楽的特徴がよく発揮された佳品である。筆者は第四番が4曲の中で最も優れた作品と考えている。ショパンの音楽的特徴は、まず曲の始まり方にある。4曲のバラードのうち、原調の主和音から開始されている曲は一曲もない。また3曲は開始調が主調と異なっている。唯一主調で始まる第3番もドミナントから始まっている。そうかと云ってショパンは決して気まぐれで無計画な作曲をしている訳ではない。第4番はハ長調で始まっているが、ハ長調は、ヘ短調のドミナント調であり、ハ長調の導入部全体が大きなドミナントとして構想されているのである。

形式的には自由ながらも、明確なソナタ形式の構造を持っている。序奏部に続くヘ短調の第一主題部、舟歌風のゆったりした変ロ長調の第二主題、ト短調で始まる展開部、イ長調となり導入部が再現し、続いてニ短調で第一主題が再現するが、やがて主調に戻って行く。第二主題は左手の細かい動きに乗って変ニ長調で再現する。そして付点二分音符で続けられる大きなドミナントで休息した後、曲のクライマックスを形成する結尾部が続き、大きな盛り上がりを見せて曲を閉じる。もちろん、これは作品の輪郭についての表面的説明に過ぎず、作品の本当の魅力をこのような短い説明で言い尽くせるものではない。それは、優れた演奏を通してはじめて明らかにされる。

⑨ ラロ チェロ協奏曲 二短調 第1楽章

ヴィクトール・ラロ（1823-1892）は、フランスの作曲家で、ヴァイオリンおよびヴィオラ奏者でもあった。彼の作品としてはスペイン交響曲（ヴァイオリン協奏曲第2番に）が有名だが、今回演奏するチェロ協奏曲も前者に引けを取らぬ名作である。

彼に関する逸話として、同年配の友人、セザール・フランクが二短調交響曲を初演した際、他の作曲家たちは途中で席を立ったが、彼だけは最後まで残って聴いていたという話が残っている。

チェロ協奏曲は1876年に作曲され、チェロ奏者のアドルフ・フィッシャーに献呈された**第一楽章**は管弦楽のユニゾンの後、ベートーヴェンの第9の第四楽章はじめにチェロとコントラバスで奏されるレチタティーヴォを想起させるようなチェロのソロが入り、その音型が繰り返され序奏を終え、アレグロ マエストロ 12/8 でロケット音型（上昇する分散音型）をもつ第一主題が奏される。ヘ長調に転調すると、力強い第一主題とは対照的な夢見るように歌う第二主題が姿を見せる。テンポが元に戻りヘ長調からイ短調になだれ込み、展開部に入る。序奏や提示部で使われたモチーフが変形されて姿を現し、チェロが細かい音型で半音ずつ上昇し、和音がニ短調のドミナントに達し主音を意識させ、第一主題を再現させる。その後同主調（ニ長調）で第二主題が再現し、オーケストラのトゥッティで結尾部に入る。チェロは音域を上下させながら16分音符を中心にダイナミックな音を奏で続け、最低音域から高音域まで音階で一気に駆け上ると、全楽器がトゥッティで序奏のモチーフからなるコーダを力強く奏で、この楽章を終える。

この作品は、チェロ奏者に音楽的技量と表現力を要求する名曲である。過去数年間、毎年異なるチェロ協奏曲の名作に挑み続け、その都度成長した姿をみせてくれた演奏者が、どのような演奏を聴かせてくれるか、大いに楽しみである。

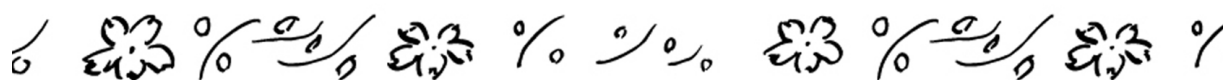
⑩ ドニゼッティ 歌劇【ランメルモールのルチア】より

“あたりは沈黙に閉ざされ ～ この上ない情熱に心奪われた時”

ガエターノ・ドニゼッティは(1797-1848)は、ベッリーニとともに、19世紀前半のイタリアオペラを代表する作曲家で、多くのオペラ作品を残している。1835年に作曲された【ランメルモールのルチア】は「狂乱の場」をもつオペラの代表作の一つで、今日においても、しばしば上演される。

ルチアは兄から裕福な貴族アルトゥーロとの結婚を強要されるが、騎士エドガルドのことを忘れられない。様々な経緯を経た後、ルチアは狂乱しアルトゥーロ刺し殺してしまう。これが有名な「狂乱の場」である。“あたりは沈黙に閉ざされ～この上ない情熱に心奪われた時”は、第一幕第二場で、ルチアが「うめき声がして亡霊が自分を招き寄せるように姿を消した」と、未来の悲劇を暗示するような不気味な物語を語る二短6/8のアリア。前奏の6度音程に導かれ、6度音程ではじまる表情豊かな旋律をもつこの歌からはもの悲しい美しさを感じず、さほど不気味さを感じない。

続いて歌われる“この上ない情熱に心奪われた時”モデラート：ト長調4/4では、ルチアはエドガルドに対する変わらぬ想いを情熱を込めて力強く歌う。二つのアリアを通して、高度な声楽の技術を要する自由な装飾的音型が多く挿入されており、コロラトゥーラの声の聴かせどころとなっている。



特集 Fresh Concert –CMDJ 2018–出演者に訊く！

Fresh Concert は昨年の開催で15回の節目を越え、今回で第16回目を迎えます。第1回～第4回までは座談会を開いて記事にしましたが、第5回目からは幾つかの質問項目を用意し、その回答を『音楽の世界』に掲載するようになりました。従ってこのアンケート方式を採用してから、今回で12回目となります。しかし、2015年4月から『月刊：音楽の世界』が季刊に移行したため、2016年度からはコンサートのプログラムが掲載されているこの演奏会用パンフレッドに、出演者の略歴、楽曲解説と併せて掲載することにしております。

以下が、今年用意したアンケート項目です。

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。
2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？
3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）
4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？
5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？
6. あなたの好きな動物、食べ物は？
7. その他（書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです）

1. はアンケート項目というより、このコンサートに寄せた各出演者のメッセージであり、毎回掲載していますが、さすがに、各自の演奏に対する意気込みが伝わる、力がこもった文が多いようです。

2. そのものずばりの質問に対して、みなさん真剣に答えていますが、「馬の鼻先にぶら下げ

られた人参」というようなユニーク表現もありました。

3. の「わかいうちにどうしてもやっておきたいこと」については、みなさんが自由に答えてくれただけに、回答者それぞれによって答えがいろいろあり、興味深く読めました。

では近未来に向けて挑戦したいテーマを語ってもらいました。**3.** は、若い音楽家にとって身に迫った切実な問題ではありますが、まずは、ひたむきに音楽中心の生活を続けて行こうという意志が強く感じられましたが、やはりそれでも、芸術と生活の両立という困難な課題について、目をそらさず立ち向かおうという姿勢が感じられた回答もありました。**4.** については、自己の体験かにじみ出るような答えが多かったように感じられました。たとえば、人生経験が浅くとも、人生に正攻法で挑んでいけば、壁にぶつかり悩むことも少なくないということでしょうか。

5. の「スマホか、テレビか」という質問項目は、数年前から考えておりましたが、若い人の殆どが携帯電話をスマホに持ち替えた時期を見計らって質問してみました。結果は予想通りというか予想以上の「スマホ」の圧勝でした。現在のスマホは一時代前のデスクトップパソコンを超える能力をもち、通信、通話、写真撮影、報検索だけでなく、テレビ番組の視聴さえ出来るので、もはや、なくてはならないものなのでしょう。スマホの多機能性を考えれば当然のことと思います。ただ、生活がスマホ浸けになり過ぎることは好ましくはありませんが。

6. 以前も好きな動物、好きな食べ物を質問したことはありますが、動物と食べ物をまとめて質問したのははじめてです。好きな動物については、猫、犬、パンダなど人気があるようですが、やはり猫の人気が高そうです。中にはセキセイインコ、マンタと答えた人もおりました。好きな食べ物については、答えは十人十色といったところで、その人によって様々でした。

全般に、自分の好きな音楽を大切にしながら、これからの人生に対して前向きに立ち向かって行こうという熱意と意欲が伝わってくる回答が多く、頼もしく思いました。出演者の方々は、このコンサートをスタート台にして、社会という海に漕ぎだして行く人もかなりいると思います。実際に社会に漕ぎ出してみれば、当初心に描いていたものとは違う経験をしたり、予想以上に高い荒波に遭遇しさらわれそうになることもあるでしょう。しかし、どのような状況に遭遇しても、若さの力と情熱、そして勇気と柔軟な精神で、各々の道を切り開いて行って欲しいと願っています。それでは、出演者のみなさんの回答を、演奏順に紹介させていただきます。なお、出演者の写真につきましては略歴のページに掲載しておりますので、それをご覧くださいたく存じます。

① 牧羽 裕子 (ソプラノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

今回、素敵な演奏会に参加させていただけること、大変嬉しく思います。楽しい時間をお過ごしいただけるよう、精一杯演奏したいと思います。

私が歌わせていただきます、「静かな夜」は、ヴェルディの傑作と名高い中期三部作が内の1つ、15世紀の王位継承を巡り内戦状態にあったスペインを舞台にした「イル・トロヴァトーレ」より、ヒロインであるレオノーラの Aria です。彼女は王女付き女官であり、吟遊詩人(トロヴァトーレ)で騎士のマンリーコの恋人です。彼女は宮殿の庭で恋人を待つ間、次女に自分の恋の馴れ初めを情緒的な旋律で語り、恋人へ募る思いから「彼のために生きられないならば、私は死ぬのでしょうか！」と自分の命運を、速いテンポで華やかに歌いきります。

この Aria はカヴァティーナ=カヴァレッタ形式という手法が用いられています。当時のオペラ作品には伝統的にこの手法が Aria に用いられていました。しかしヴェルディは中期以降、物語の展開を重視する作品作りに重きを置くために、次第にこの形式を使わないようになります。けれどこの作品ではあえて、物語の時間をも支配する、この歌唱を重視した手法が使われています。凄惨な復讐劇の中で愛

故の犠牲者となる彼女の恋が、暖かく優美な幸福であると同時に、張り裂けそうな胸で命をかける壮絶なものであることをドラマティックに表現しています。

文明の激動期を生き、壮大で普遍的な人間世界を追求したヴェルディの描いた、心を表現したいと思います。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

例えるなら、馬の鼻先に人参をぶら下げる。の、人参です。止まっている時は同じ位置でぶら下がっているのに、走り出すとたまたま鼻先に当たったり、逆に遠くに跳ね上がってしまったり…。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

両親と過ごす時間を大切にしたいです。

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

辛い時は、自分に素直になります。泣きたい時は泣いて、休みたい時は休みます。何も考えないで何かをしたり、しなかったりしても、解決しないと思います。

壁にぶつかった時は、大きな見返りを求めず続けます。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

スマホです。練習の録音もスマホで記録してます。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

一緒に暮らしている犬と猫が大好きです。

食べ物は白いものが好きです。豆腐とか、乳製品とか…

7. その他（書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです）

私たちにとって、人前で演奏させていただく機会というのは、何物にも代えがたい経験であり、財産です。演奏させていただける喜びは明日からの頑張りとなり、私たちを支えてくれます。日頃からの感謝はもちろんのこと、今回の機会をいただけたことへの感謝と、そしてその責任をもって演奏させていただきます。

② 田中 詩織(ピアノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

今回はこのような素晴らしい舞台で演奏する機会をいただき、大変嬉しく光栄に思っております。ありがとうございます。

本日演奏します曲はシューマンが24歳から27歳にかけて作曲したもので、タイトルに“symphonisch（交響的な）”と付けられているように、オーケストラを思わせるダイナミックで豊かな響きと壮大なスケールを持った作品です。主題と12の変奏曲から成っており、変奏には主題のモチーフである“Cis-Gis-E-Cis”という音形があらゆるところに散りばめられています。それぞれの変奏は流れるように繋がっており、変化と勢いに富んでいて、かつロマンティックなシューマンの音楽そのものと言えると思います。のちにブラームスの校訂によって加えられた5曲の遺作もまた有名ですが、今回は遺作を除く12曲の変奏を演奏させていただきます。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

人生をより豊かにしてくれるものではありませんが、一生かかっても勉強し尽くせるものではないと思っています。様々な色彩と音色に溢れた美しさと、いくら登っても頂上の見えない険しさの二面を持つ高い山のようなものだと思います。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

語学です。特に音楽とも結び付きの深い西欧の言語に関心があります。また、旅行が好きなので体力があるうちに海外の美術館と美味しいもの巡りをしたいです。

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

よく一人で反省会をしています。現実的なタイプなのですぐ解決するための段取りを考えたり、事によっては家族や友人に頼ってしまうことが多いので、一人で抱え込むことはあまりないと思います。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

自宅にテレビを置いていないので、スマホの方が多いです。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

犬、パンダ。好きな食べ物はチーズです。

③ 吉田 静香（ソプラノ）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

このコンサートに出演できることを嬉しく思います。今回演奏させていただく2曲は今年の1月に終えた卒業試験で演奏した曲なのでとても思い入れがあります。チマーラの素敵な音楽とワリーの世界観を皆様に表現しお伝えできたらと思います。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

必要不可欠なものです。楽しいときも辛いときも側にあるものは音楽です。その場を照らしてくれる、そんな存在です。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

やっておきたいというよりもやりたいことは、オペラを1本通して演じてみたいです。

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

2.の質問で答えたように、音楽に助けられることもありますし、心を開ける人に相談し解決策を探して切り抜けます。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

その日にもよりますが、基本的にスマホです。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

セキセイインコ、たらこスパゲッティが大好きです。

④ 松井 菜緒（フルート）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

今回、このコンサートに参加させていただけることになり、大変嬉しく思っております。演奏する「序奏とロンド」の作曲者F.クーラウは、ピアノを学んだことのある人は「ソナチネ」の作曲者！でピンっとくる人が多いかと思います。クーラウは「フルートのベートーヴェン」と呼ばれ、フルートのための作品を多く残しています。また、ベートーヴェンとも親しく交友していたようです。「序奏とロンド」はフランスの作曲家ジョルジュ・オンスローのオペラ「コンポルトゥール」の合唱曲を主題にし、8分という長くない時間の中、様々な表情が登場します。今回、出演するきっかけとなった演奏会で、伴奏していただいた素晴らしいピアニストである杉森さんと、再度また共演できることも楽しみの一つです。是非、お楽しみください。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

私の全て、というと大ごとかもしれませんが、口下手な私が意思表示できる手段かもしれないなあと思最近思います。笑

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

渋谷やディズニーのハロウィンイベントはいつか経験してみたいなあと思ってます。

4.辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

くよくよと悩んで泥沼にハマってしまうことが多いので、信頼している大人の皆さんに相談したり、ご飯をたくさん食べて、寝てしまいます。そうすると、次の日にはスッキリとした頭で考えられるようになってます。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

都心部に住んでいないため、移動時間がかかなりあり、スマホの方が圧倒的に多いです。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

好きな動物は猫です。好きな食べ物は、お肉とイチゴ、里芋です。

⑤ 吉田 裕佳子（ピアノ）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

この度はこのような素晴らしい演奏会に出演させていただけることを大変嬉しく思うと共に、演奏する機会を与えてくださり感謝いたします。

今回はドビュッシーのエチュード12曲の中から3曲を演奏させていただきますが、どの曲も素敵な和声できており、リズムカルな部分、美しい旋律と魅力のたくさんつまった作品だと思います。いわゆる技巧を習得するための”練習曲”というよりとても音楽的な作品なので、そのおもしろさを表現できたらと思います。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

喜びや感動、辛さや苦しみなど様々な感情をあたえ成長させてくれるものであり、自分を表現させてもらえるものでもあります。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

国内、海外を旅行し、それぞれの場所の風景、食、音楽等を五感で感じることで知見を深めたいと思

っています。

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

そのことを切り抜けるためのいくつかの方法を考え、今できることを一つずつこなすようにします。自分で解決法が思いつかない時は、友人や家族などに相談します。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

スマホです。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

犬、猫が好きですが最近では近所の猫に癒されています。好きな食べ物はお寿司です。

⑥ 宮本 剛(Ten.tb.)／安達文香(Ten.tb.)／千葉 美紗希(Ten.tb.)／白井 美恭 (Bas.tb.)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

4年生になって初めてのコンサートになるので、いい演奏をして今年度スタートできたらいいなと思います。(安達)／去年までの私たちとは良い意味で違う演奏ができたらいいと思います。(白井)

今回4年生とこうして一緒にアンサンブルできる機会を与えられ大変嬉しく思います。私だけ学年が1つ下ではありますが、経験の差を感じさせないようにアンサンブルができたらいいと思います。(千葉)／皆様に金を払って見に来ていただける演奏会なので、良い演奏をお届けできたらいいなと思います。(宮本)

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

唯一小さい時から続けられた事。(安達)／自分のことを苦しめることもあるし、楽しませることもあるし、人間らしく生きさせてくれるもの。(白井)／感情に影響を与えるもの。(千葉)
体の一部(宮本)

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？(音楽以外のことでもいいです。)

仲のいい友達とたくさん旅行する。(安達)／周りに少し頼ってでも、やりたいことをしっかり明確に行っていく。(白井)／奇抜に染髪したい。(千葉)／髪を染めまくる(宮本)

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

辛い状況になってしまった事は仕方ないと諦めてからもう一度取り組み直す。(安達)／自分なりの考えを持ちつつ周りの意見も取り入れて、焦らずじっくり取り組む。(白井)／一度離れて気分を変えてから視点を変えて攻める。(千葉)／遊ぶ(宮本)

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

スマホ(安達)／スマホ(白井)／家ではテレビ。外ではスマホ(千葉)／スマホ→スマホ依存症 (宮本)

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

猫、肉(安達)／猫、果物(白井)／猫・マンタ・トラ、イクラとカキ以外なら何でも(千葉)

コツメカワウソ、チキン南蛮(宮本)

⑦ 新福 美咲 (ソプラノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

この度は、フレッシュコンサートに出演させていただけること、大変嬉しく思うとともに、素敵な機会をいただきまして心より感謝いたします。

大学院ではフランス歌曲専攻として、フランス歌曲を幅広く勉強させていただきました。今回は、フランスボルドー出身の作曲家ルイス・ベイツ(1896-1953)の「鳥たちの為の歌」より 1. 短刀で刺された鳩 4. 籠のカナリアと、パリ出身のフランシス・プーランク(1899-1963)作曲「愛の小径」の 3 曲を演奏させていただきます。20 世紀初頭の激動の時代を生きた作曲家達の作品です。どちらの作品からも、何気ない日々の幸せや、愛の尊さを感じさせます。作品の温かさをお伝えできるよう心込めて演奏させていただきます。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

母が音楽教師をやっていることもあり、音楽は生まれてから、いつも身近にあるものでした。演奏する側として音楽とは、自分自身を写す鏡です。1 番の友であり、1 番のライバルでもあります。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？(音楽以外のことでもいいです。)

私は辛党なので、エスニック旅をしたいです！
タイに本場のタイ料理を食べに行き、中国の四川省に本場の四川料理を食べに行く！

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

まず友達と美味しいご飯を食べに行って、たくさんお喋りをします。そして、いつもよりたくさん寝ると、次の日には辛いという感情はほとんど薄らいでいます。感情の整理が済んだら、そこから対処法を考えます。

基本的にポジティブな性格なのと、私の話しを聞いてくれる優しい友人達に恵まれています。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

圧倒的にスマホです！テレビは情報を与えられるものですが、スマホは人とのコミュニケーションツールでもありますので、どうしてもスマホと接する時間が長くなります。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

最近ハマっているのは、担々麺です！花山椒がたくさん入って香りが豊かなものが好きです！でも、演奏会前は我慢しています。

好きな動物は、猫とパンダです。コロコロして柔そうなフォルムが好きです！香香をまだ見に行けていません。猫カフェには良く行きます。

⑧ 立本 沙也華 (ピアノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

本年も、こちらの演奏会に出演させていただき、大変感謝しております。私は、今回で三度目の出演となります。一度目はハイドン ソナタ、二度目はラフマニノフ エチュードでした。そして三度目はショパン バラード。

私はショパンが大の苦手で、つい最近までショパンの曲に魅力を感じる事が出来ませんでした。しかし、大学院の入学試験でショパンの「幻想ポロネーズ」を勉強する機会があり、その時に、何から何ま

でため息が出るほどに、全ての音が自然で必然である事に感動致しました。三度目となるこのホールで、響きを存分に感じながら、皆様と一緒にショパンの素晴らしさを楽しめたらと思います。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

辛く悲しいときでも、切なく寂しいときでも、寄り添ってくれたり、嫌なことを忘れさせてくれる存在です。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

世界旅行をして、いろんな人と出逢いたいです。

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

ひたすらに前を向きます。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

スマホです。全ての情報が正しいとは限りませんが、何かあったらすぐにスマホで調べています。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

猫が大好きです。私のイメージですが、気楽に生きている感じがするので。大好物はさんまの塩焼きです。旬の秋に食べるさんまは本当に美味しいです。

⑨落合 真悟（チェロ）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

今年もフレッシュコンサートで弾かせていただくことになり、とても嬉しく思っています。今年はラロのチェロコンチェルトを弾かせていただきます。技巧的な部分が多く、スペイン風のリズムや第2テーマを表現するのは難しいですが、やってきたことを形にできるように頑張りたいと思っています。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

音楽は僕にとって切っても切り離せない存在です。音楽に集中している時間は自分にとって1番幸せな時間であり、他のあらゆることを忘れられる時間なのでなくてはならないものです。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

今年の2月から3月にかけて大学のオーケストラの演奏旅行でヨーロッパに行ってドイツやオーストリア各地をまわってきたのですが、音楽の環境がやはり素晴らしくこういう環境でじっくり音楽を勉強してみたいと感じました。

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

辛いとき、壁にぶつかる時は生きていく中で幾度となくあるとは思いますが、目の前のやるべきことというのを大事にしていきたいと思えます。今何をしなければならないかということを考えて1つ1つクリアしていくことが近道なのではないかと感じます。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

スマホの方が圧倒的に長いと思います。テレビの内容を Youtube などですぐ見れたりするので以前よりもテレビは見なくなりました。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

猫、回鍋肉など

⑩ 野村 優子 (ソプラノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めた、メッセージをお願いします。

この度はこのような素敵な演奏会に出演させて頂けること、大変光栄に思うと共に、心から感謝致します。今回演奏させていただく「ランメルモールのルチア」はベルカントオペラを代表する作品です。その美しい旋律を表現する為には響きのある音色が必要です。私はその「響き」を最大の目標としており、大学や大学院でも日々追求して参りましたが、その道は険しく、これからも一生追い求めて参りたいと思っております。今回は今の自分の挑戦として、この曲を選びました。

ルチアは強い意志を持った女性です。彼の事を強く想い、真っ直ぐに突き進むが故に、最後はもろく砕け、彼女は「狂乱」へと至るのです。彼女の強い意志や愛を皆さまに届けられるように願いを込めて歌います。

2. あなたにとって、音楽とは、いかなるものですか？

いつも私達のそばにある、美しい世界です。音楽を表現する事で、沢山のひとと感動を共有することができるのだと思います。

3. 若いうちにどうしてもやっておきたいことはなんですか？（音楽以外のことでもいいです。）

世界遺産を見に行くこと！

4. 辛いとき、壁にぶつかった時、あなたはどのようにして切り抜けますか？

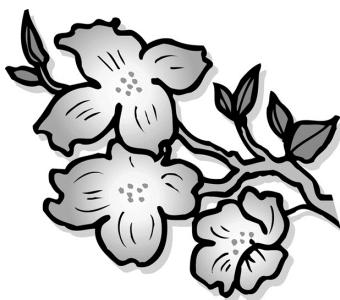
紙に書き出します。頭の中のもやもやが整理されるからです。あとは、他の人の演奏を聴いたり、話を伺ったりすると、新しい発見を得られます。

5. テレビとスマホは、どちらが接する時間が長いですか？

スマホです。つつい。

6. あなたの好きな動物、食べ物は？

好きな動物は、猫です。のんびりとした空気感が好きです。幼い頃から動物を飼ったことがないので憧れですが、



日本音楽舞踊会議 (The Conference of Music and Dance, Japan 〈CMDJ〉) からのお知らせ

◆会員へのお誘い

本会是一个の専門だけではなく、声乐、器乐、作曲、研究、评论、教育、轻音乐、舞蹈、などさまざまなジャンルの専門家で構成される団体です。機関誌として、この「音楽の世界」を発行し、演奏会、ゼミナール、研究会などを開催するほか、会報、メールマガジン、ホームページの発行や、会員同士の交流、情報交換などもあり、さまざまなジャンルの人との交流が出来るのはこの団体の特徴です。

正会員の会費は年額 22,000 円、準会員の会費は年額 15,000 円です。他に 30 歳未満の方を対象とした青年会員 (年額 11,000 円) という特典制度があります。青年会員は役員の被選挙権を有さない以外は、正会員と同等の権利を有します。

◆賛助会員へのおさそい

本会の活動に協賛し、ご支援下さる方々を対象とした制度です。所定の年会費を納めて頂くほか、どのような資格制限も無く拘束もありません。どなたでもお申し込み頂けます。本誌「音楽の世界」を毎月お送りする他、本会が主催する演奏会などの事業に会員同様無料または会員割引料金で入場できます。

年会費は 1 口 10,000 円で、1 口以上からお申し込みになれます。

◆会友制度について

会友には研究員と維持会友があります。

・研究員は本会を足場に、研究、音楽活動をして行く方々のための制度で、本会において研究員としての活動を認められた方々は、会の主催行事 (コンサート、研究会など) について、会員に準ずる条件で参加する権利を有します。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、本会機関誌「季刊；音楽の世界」を毎月お送り致します。

・維持会友は本誌や本会の活動に関心をお持ちの方は申し込みいただければ、どなたでも資格を得ることが出来ます。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、「季刊：音楽の世界」を毎月お送り致します。

★機関誌『季刊：音楽の世界』定期購読について

『季刊：音楽の世界』は、年 4 回発刊されておりますが、年間購読費 3,200 円で、定期購読が出来ます。定期購読者には毎月郵送で、『音楽の世界』をお送りします。

以上の記載事項について、詳しくは本会事務所 (電話 03-3369-7496) へお問い合わせください。

日本音楽舞踊会議 (TEL/Fax03-3369-7496) ・

e-mail: info@cmdj1962.net